

歴史と文化の薫る
住^まみ^ちやすい地区 外ヶ輪
～大きく育てよう人の輪で～



外ヶ輪地区福祉懇談会 外ヶ輪地区自治会連合会

新発田市・社会福祉法人新発田市社会福祉協議会

ご あ い さ つ

この度、新発田市と新発田市社会福祉協議会のご協力により、当外ヶ輪地区の「福祉活動計画」を策定させていただきました。

私たちが暮らしている外ヶ輪地区は、新発田市の中心地域に位置し、文化施設や公共施設など多くあります。

外ヶ輪地区福祉懇談会では、地域づくりと地域福祉の推進を目指して、新発田市自治会連合会を中心として、各組織及び団体等の代表はもとより、ご参加いただいた大勢の方々の想いを楽しい中にも真剣に話し合いました。

この計画は、自らの手で地域を築こうという有志の皆様で4回懇談会を開催し、地域の課題をみつめ、そして、地域の魅力を再確認しあいながら、話し合いを重ねてまとめたものであります。

この懇談会を重ねるごとに、愛する大好きなふるさと外ヶ輪の将来は、やはり地域住民が主体となって考え、協調し、行動し、お互いに助け合える関係を築く事が大切であるとの想いが固まってきたように感じております。

これを機会に、本計画を縁あって同じ地区に住む多くの皆様方にご覧いただくとともに、更に検討を加える機会を作りながら、より議論を深めて、実践につなげられればと願うところであります。



平成27年3月

外ヶ輪地区自治会連合会 会長 片桐 隆

目 次

1 地域伝言板	
(1) 外ヶ輪地区の特徴	1
(2) 主な公共施設など	1
2 計画の概要	
(1) 外ヶ輪地区福祉活動計画とは	3
(2) 外ヶ輪地区福祉活動計画の目的	3
(3) 外ヶ輪地区福祉活動計画の推進に向けて	3
(4) 外ヶ輪地区福祉活動計画づくりの意義	4
3 地域の魅力と現状	
(1) 地域の魅力について	5
(2) 地域の現状について	5
4 福祉活動計画	
(1) 基本理念	6
(2) 基本目標	6
(3) 計画の実現に向けて	7
5 策定方法	
(1) 外ヶ輪地区福祉活動計画策定団体等	10
(2) 外ヶ輪地区福祉活動計画策定経過	11
(3) 外ヶ輪地区福祉懇談会で出された意見	12
6 参考資料	
「新発田市地域福祉(活動)計画」の基本理念と体系	21
外ヶ輪地区福祉懇談会回覧	23

1 地域伝言板

● (1) 外ヶ輪地区の特徴 ●

◆市街地の中心にあつて、市役所はじめとした公共施設が集中している

市役所や生涯学習センター、市民文化会館、市立図書館、カルチャーセンターなどの公共施設が集中し、市の中心機能を果たしています。また県立新発田病院、下越総合健康開発センターや特別養護老人ホームなどもあり、医療・福祉施設も充実しています。

◆新発田城など歴史的建造物がある

新発田市のシンボルである新発田城をはじめ大手町や中央町の社寺など歴史的建造物が集積しています。この新発田城から御免町地区の清水園にかけては城下町の面影を色濃く残しており、歴史的街並みが形成されています。

◆駅前から新発田停車場沿いに商店街が連なっている

新発田駅から西にのびる新発田停車場線沿いには古くから商店街が軒を連ねています。現在は郊外の大規模店舗におされてかつての賑わいは失われていますが、土地区画整理事業や駅前複合施設整備により駅前には新発田市の「顔」「玄関口」として大きく変わります。

◆城下町の街並みとともに建築物が比較的密集している

大手町の新発田停車場線から自衛隊営前訓練場にいたる地区は、土地区画整理事業により計画的に整備された地区で、停車場線沿いに商業業務地、その後背に住宅地が形成されています。

● (2) 主な公共施設など ●

- ◆生活関連
 - ・市役所
 - ・いきいき館
 - ・警察署
 - ・裁判所
- ◆コミュニティ拠点
 - ・中央公民館
 - ・生涯学習センター
 - ・ボランティアセンター
 - ・カルチャーセンター
- ◆教育施設
 - ・外ヶ輪小学校
 - ・本丸中学校
 - ・新潟職業能力開発短期大学校
- ◆文化・歴史拠点
 - ・市民文化会館
 - ・図書館
 - ・堀部安兵衛像
 - ・しばた台輪
 - ・カトリック新発田教会
 - ・蒔谷虹児記念館
 - ・新発田城
 - ・新発田城址公園
 - ・坪川洵平翁箴言碑（格言）
 - ・坪川洵平翁頌徳碑





堀部安兵衛像

越後・新発田藩士の家に生まれた堀部安兵衛は「高田馬場の決闘」で名をあげ、浅野家浪人・四十七士の一人として「討ち入り」に参加、獅子奮迅の活躍をした。

その堀部安兵衛の像は、今も江戸の方向を見据えている。



落谷虹児記念館

新発田市出身で、童謡「花嫁人形」の作詞者でもある、抒情画家・落谷虹児の大正ロマンあふれる作品とその生涯を伝える記念館。

また、落谷虹児の「花嫁人形」を歌い継ごうと、1998年から「全国『花嫁人形』合唱コンクール」が行われている。



新発田城

新発田城は、別名「あやめ城」とも呼ばれ、初代新発田藩主溝口秀勝公が慶長3年に築城し、3代宣直公のときに完成した。

平成16年には、三階櫓、辰巳櫓が復元され、三階櫓の3匹の鯨を配するという独特の櫓で、全国にも例がない大変珍しいもの。



しばた台輪

しばた台輪の起源は享保11年に遡ることができ、時の新発田藩主6代溝口直治公が、諏訪神社祭礼にあたり「賑わい」として「飾り人形の屋台を出すように」とのおふれを出したことが始まりといわれている。



カトリック新発田教会

丸太材とレンガで作られた優れたデザインの教会。聖堂は、昭和41年に竣工。建築家アントニン・レーモンドによる設計で、アントニン・レーモンドと親交のあった当教会の司祭ジョセフ・ノツォンの依頼で実現した。

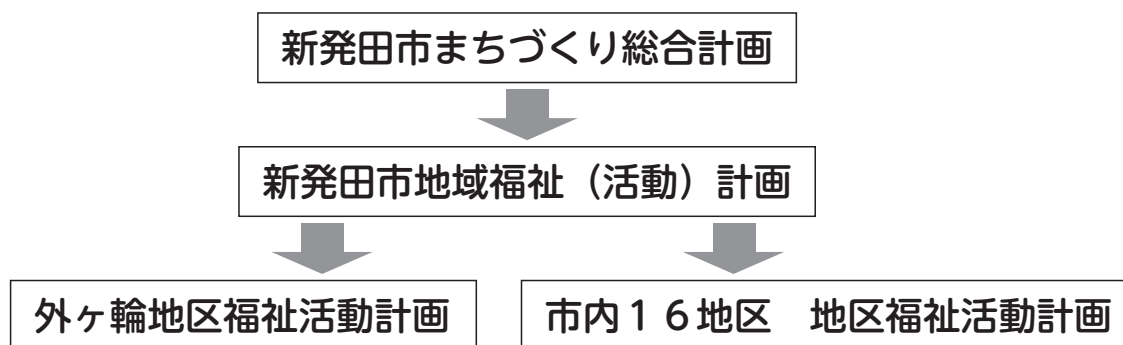
2 計画の概要

● (1) 外ヶ輪地区福祉活動計画とは ●

少子高齢化社会を迎え、社会全般が大きく変化している中、行政への市民要望は年々増大していますが、一人ひとりに適したきめ細かなサービスを行政だけの力で提供することは困難になっています。このため、市民が自立した生活をめざし、地域での福祉を「支え合い」によるシステムという新たな視点で再構築し、維持していく仕組みをつくりあげることが重要となっています。

新発田市は「まちづくり総合計画」の中で、あるべき将来都市像を「住みよいまち日本一 健康田園文化都市、しばた」としています。その基本理念の下に、新発田市地域福祉（活動）計画は、「しばたに住んで良かった。」と市民が言えるよう、地域において市民や福祉関係者、社会福祉協議会、行政が相互に知恵を出し、力を合わせながら、高齢者や障がい者など支援が必要な市民が地域で安心して生活を送ることができる“共生社会”の実現を目指しています。

「外ヶ輪地区福祉活動計画」は、地域の中で問題となっていること、困っていることなどを「地域みんなの問題」として捉え、話し合い、取り組んでいくための指針であり、「新発田市まちづくり総合計画」、「新発田市地域福祉（活動）計画」に基づいた計画です。



（順次策定しています。）

※地域福祉とは、「適切な地域を単位として」「地域住民が主体となり」「地域課題の解決に向けて」「自治会と行政なども含め」「お互いに知恵を出し合い」「支え合っていく」ことです。

● (2) 外ヶ輪地区福祉活動計画の目的 ●

外ヶ輪地区に対する想いを語り合うことを通して、「地域の魅力と現状」、「地域でできること」、「自分でできること」、「こうなったらいい」などを一緒に考え住民主体の地域福祉づくりを行政、社会福祉協議会、関係機関などと連携して進めていきます。高齢者や障がい者など支援の必要な市民が地域（外ヶ輪地区）で安心して生活できる“共生社会”の実現をみんなで目指します。

● (3) 外ヶ輪地区福祉活動計画の推進に向けて ●

計画づくりの過程を通じ、みんなで同じ方向を向いて協働していくために、地域の課題や目標を共有しましょう。その上で、外ヶ輪地区の中・長期的な目標として位置づけ、地域の方々と行政や社会福祉協議会などが連携して取組を進めていくことが重要です。

● (4) 外ヶ輪地区福祉活動計画づくりの意義 ●

外ヶ輪地区福祉活動計画を地域の人々で作ることで

- ① 地域の課題や目標を関係者で共有し、同じ方向を向いて協働することができる。
- ② 計画を公表することで、地域の福祉活動について、広く地域住民の理解と協力が得られる。
- ③ 中長期的な見通しを持って、段階的・継続的に取り組んでいくことができる。
- ④ 活動の優先順位や重点がはっきりする。
- ⑤ 活動がうまく展開されてきたか振り返り、次の課題を明らかにすることができる。
- ⑥ 計画づくりの過程で人が育ち、地域の関係者の連帯も強くなる。

みんなで作る外ヶ輪地区福祉活動計画



3 地域の魅力と現状

外ヶ輪地区福祉懇談会で見てきた地域の魅力と現状

外ヶ輪地区に住んでいる子どもから高齢者まで、すべての住民が地域においていきいきとした生活を送ることは外ヶ輪地区住民のみんなの願いです。

この目的のため、地域住民や行政、社会福祉協議会、民間の福祉サービス事業者等が協働しながら、みんなで外ヶ輪地区福祉活動計画を策定しました。

計画策定の具体的作業として、平成26年9月～平成26年12月まで4回にわたり福祉懇談会を開催し、地域の魅力と現状や福祉に関わる様々な課題について、話し合いをまとめました。

● (1) 地域の魅力について ●

① 地域活動について

- ・ 町内行事などの協力体制がよい
- ・ 自治会が活性化してきた、町内活動が活発である
- ・ クリーン作戦の参加者が多い
- ・ 町内での祭りを通じて、世代間交流がなされている
- ・ 防災会があり、防災訓練は多くの人に参加する

② つながりについて

- ・ イクメンが多い
- ・ 昔ながらの住人で、家族同士仲良く生活している
- ・ 人柄が良く、子どもへの見守りがある

③ 社会資源について

- ・ 民生委員が、一人暮らしの方を気にかけてくれている
- ・ ふれあいルームがあり、高齢者の集まれる場所がある
- ・ お城や公園が近くで、散歩などできる
- ・ いきいき館、文化会館、公民館など趣味の場所がある
- ・ キャリアを活かした高い技術を持っている方が多い

④ 地域性について

- ・ 子どもからあいさつができる
- ・ 出会う人同士があいさつする
- ・ 人々の心の余裕、優しさがある

● (2) 地域の現状について ●

① 地域について

- ・ 空家、空地が多い
- ・ 地域で行事がなくなりつつある
- ・ 防災組織がないところがある
- ・ 公会堂など活用が少ない

② 生活について

- ・ 高齢者のニーズがわかりづらい
- ・ 高齢化が進んで、除雪などに困っている

③ つながりについて

- ・ 高齢者など隣り近所の交流が少ない
- ・ 他人に無関心な人や家族が多くなってきている
- ・ 昔ながらの「向う三軒両隣」の交流が少なくなっている

④ 後継者不足について

- ・ 祭りの担い手が少ない
- ・ 町内や自治会などの役員のなり手がいない

4 福祉活動計画

外ヶ輪地区福祉活動計画

● (1) 基本理念(スローガン) ●

外ヶ輪地区に住む住民一人ひとりが地域活動に積極的にに関わり、お互いが個人として尊重しあい、生きがいや充実感をもちながらその人らしい生活ができることを目指していくことが大切です。こうしたことから次のとおり計画の基本理念を定めました。

歴史と文化の薫る
ま ち
住みやすい地区 外ヶ輪
～大きく育てよう人の輪で～



● (2) 基本目標 ●

福祉懇談会で話し合われた地域の魅力と現状及び課題に基づき、計画の基本目標を次のとおりとしました。

基本目標 1	たすけあい 支えあい 人のつながる地域づくり
基本目標 2	子どもから熟年まで みんな元気で楽しい地域づくり
基本目標 3	マナーを守り 安心・安全な住みよい地域づくり
基本目標 4	世代を超えて 歴史と文化を未来につなぐ地域づくり
基本目標 5	関係機関と協働した魅力ある地域づくり

● (3) 計画の実現に向けて ●

目標達成の具体的な取組の例 → 福祉懇談会では
自分達でどんなことができるのか
アイデアを出し合いました。



- ◆基本目標 = こんな地域であつたらいいな
- ◆実施項目 = 私たちにできること(取組の例)

基本目標 1 たすけあい 支えあい 人のつながる^{まち}地域づくり

目 標		実施項目(取組の例)	
1	たすけあい、支えあえる地域づくり	1	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ ・交流の場づくり、話す会(特に男性) ・高齢者へのお手伝い ・町内行事に誰もが参加できる地域 ・地域包括支援センターとの連携
2	人のつながりのある地域	2	<ul style="list-style-type: none"> ・すれ違う人には、きちんとあいさつをする ・見守りのある地域づくり(地域見守り隊等) ・地域交流の場をつくる(サロン、地域の茶の間)
3	町内、地域活動の活発化	3	<ul style="list-style-type: none"> ・声かけや、思いやりの気持ちを持つ ・世代を超えた地域行事を行う(懇親会等) ・気やすく助け合える雰囲気づくり ・みんなが集える場所づくり ・町の案内ができる町内(地域名所、道案内等)



基本目標2 子どもから熟年まで みんな元気で楽しい^{まち}地域づくり

目 標		実施項目(取組の例)	
1	地域の中で世代を超えた子育て支援	1	・ 温かい声かけ、あいさつをする ・ マンパワーの活用 ・ 世代間交流ができる場の提供
2	子どもから高齢者まで顔見知りで、安心して暮らせる地域 魅力ある町内	2	・ 見守り活動(日中) ・ 声かけ ・ あいさつ
3	子どもの活動が見えるまち	3	・ 子どもの行事に大人も積極的に参加する

基本目標3 マナーを守り 安心・安全な^{まち}住みよい地域づくり

目 標		実施項目(取組の例)	
1	マナーを守り、きれいで安心・安全な住みたい町づくり	1	・ あいさつ ・ 町内行事への参加(参加して、はじめてわかる地域の様子) ・ 気づいたら、ゴミを拾う(トンブ、ゴミ袋、腕章) ・ 地域の防災、防犯組織を強化する
2	みんなで助け合える、楽しく優しい地域(地域の絆を強める)	2	・ あいさつ、にこやかな声かけ ・ ルールを守る地域 ・ 進んで町内活動をする ・ とさり近所の困りごとのお手伝いをする

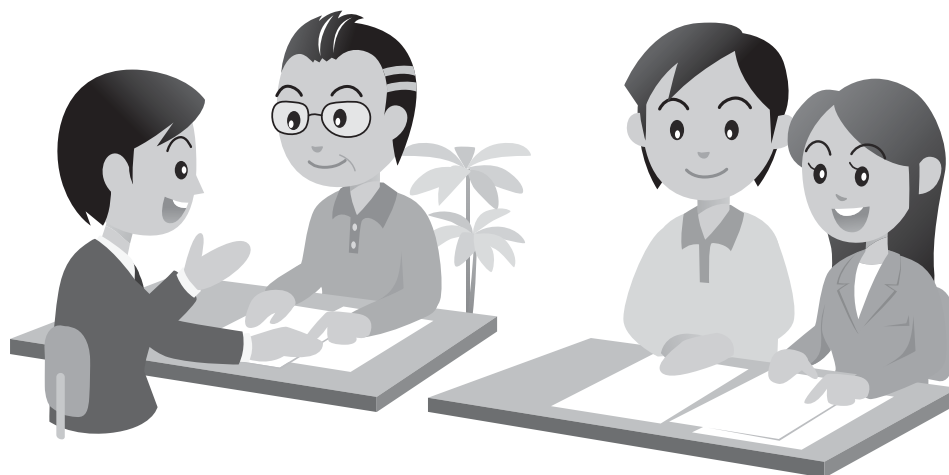


基本目標4 世代を超えて 歴史と文化を未来につなぐ^{まち}地域づくり

目 標		実施項目(取組の例)	
1	環境整備 ～名所・旧跡を活かした魅力ある地域づくり～	1	<ul style="list-style-type: none"> ・空地、空家対策(防犯を含む) ・マナー向上 ・魅力ある観光地を目指して綺麗にする
2	世代を超えて、歴史ある地域の伝承	2	<ul style="list-style-type: none"> ・次世代に歴史・文化を語り継ぐ ・史跡や文化を活かした観光で、地域活性化を図る ・各種イベントの開催 ・展示室での学習(お城、白壁兵舎、図書館)
3	自然を活かした生活環境の充実	3	<ul style="list-style-type: none"> ・草取りや町内清掃を行う ・公園の有効活用や花壇の手入れで環境美化 ・ゴミステーションのマナー徹底

基本目標5 関係機関と協働した魅力ある^{まち}地域づくり

目 標		実施項目(取組の例)	
1	地域と行政と関係機関との協働のもとで、より良い住みやすい共生のまちづくり	1	<ul style="list-style-type: none"> ・課題のピックアップ、整理、調査を行い、地域、行政、社協等関係機関が対話をしながら、それぞれの役割を果たしていく



5 策定方法

● (1) 外ヶ輪地区福祉活動計画策定団体等 ●

この外ヶ輪地区福祉活動計画は、外ヶ輪地区自治会連合会を中心に民生委員児童委員、保健自治会、こども会、外ヶ輪小学校PTA、老人クラブ、育成会、青壮年部、防災会、新発田中央地域包括支援センター、新発田南地域包括支援センターなどの人達に呼びかけ、福祉懇談会を開催し、地域の魅力と現状及び課題を把握して、基本目標や具体的な取組事例として策定しました。

■外ヶ輪地区自治会連合会（18町内会）

1	本町1丁目町内会
2	本町2丁目町内会
3	本町3、4丁目町内会
4	中央町1丁目町内会
5	新道町内会
6	中央町4丁目町内会
7	中央町5丁目町内会
8	大手町城南町内会
9	同心町地区町内会
10	西ヶ輪町内会
11	大手町三丁目町内会
12	大手町東町内会
13	大手町5丁目町内会
14	大手町6丁目自治会
15	緑町1、3丁目町内会
16	城北町1丁目自治会
17	城北町3丁目町内会
18	新富町1丁目町内会

- 民生委員児童委員
- 保健自治会
- こども会
- 外ヶ輪小学校PTA
- 老人クラブ
- 育成会
- 青壮年部
- 防災会
- 新発田中央地域包括支援センター
- 新発田南地域包括支援センター



● (2) 外ヶ輪地区福祉活動計画策定経過 ●

年 月 日	会 議 等	内 容
平成26年7月9日	説明会 (生涯学習センター)	・各自治会長に概要説明 (参加者21名)
平成26年7月16日	打合せ (市役所別館2階)	・自治会連合会三役会議と打合わせ 福祉懇談会開催日程調整等 (参加者10名)
平成26年8月11日	打合せ (ふれあい会館)	・第1回外ヶ輪地区福祉懇談会について 事前打合わせ (参加者21名)
平成26年9月11日	第1回 外ヶ輪地区福祉懇談会 (地域交流センター)	・「地区福祉活動計画について」研修会 講師：敬和学園大学 趙教授 ・懇親会 (参加者80名)
平成26年10月9日	第2回 外ヶ輪地区福祉懇談会 (地域交流センター)	・グループワーク1 ①私たちの地域のいいところ ②身近なところで困っていること ③こんな地域であつたらいいな ④私たちにできること ・グループ発表 (参加者71名)
平成26年11月13日	第3回 外ヶ輪地区福祉懇談会 (地域交流センター)	・グループワーク2 地区の現状と課題の整理 ・グループ発表 (参加者69名)
平成26年12月11日	第4回 外ヶ輪地区福祉懇談会 (地域交流センター)	・グループワーク3 ・グループ発表 ・懇親会 (参加者65名)
平成27年1月20日	外ヶ輪地区福祉懇談会実施報告 回覧	
平成27年1月26日	第1回 編集委員会 (ボランティアセンター)	・外ヶ輪地区福祉活動計画の基本理念と基本目標 などの検討 (参加者12名)
平成27年3月10日	第2回 編集委員会 (ボランティアセンター)	・外ヶ輪地区福祉活動計画の目標に向けた実施項目 などの検討 (参加者13名)
平成27年3月20日	第3回 編集委員会 (ボランティアセンター)	・外ヶ輪地区福祉活動計画のデザイン構成などの 調整 (参加者12名)
平成27年3月31日		・外ヶ輪地区福祉活動計画完成

● (3) 外ヶ輪地区福祉懇談会で出された意見 ●

グループに分かれて、地域の魅力と現状や課題を共有し、地域の皆さんで支え合いの知恵を出し合いました。懇談会で皆さんが話し合われた意見をご紹介します。（グループごとに掲載しています）

1 私たちの地域のいいところ

- ・市の中心なので、多くの施設がある
- ・学校が近い
- ・救急車がすぐに来る
- ・病院や医院がある
- ・近くに新しく保育園、デイサービスセンターができた
- ・学校が近いので、子ども達の通学が便利
- ・交通の要（駅、バス）で医療関係（県立病院、休日診療所等）が整備されている
- ・行事推進に町内会と各組織が協力できている
- ・町内行事（子ども祭、金魚台輪、運動会）に多数参加
- ・町内会活動が活発
- ・自治会が活性化してきた これからが楽しみ
- ・行事の参加者が多い
- ・町内会で何回かの行事があります（新年会、お茶飲み会、グランドゴルフ、祭り、ボーリング、その他子ども会の行事）
- ・近くに公園があり緑が多い（城跡など）
- ・新発田のシンボル 新発田城
- ・昔ながらの住人で、家族同士で仲良く生活
- ・大型スーパーウオロクが町内にある
- ・買い物が近い
- ・静か（騒音少ない）
- ・そう遠くない距離に山があり、海がある（この地区に限らないが）
- ・いろいろな年齢層の方が住んでいる
- ・あいさつ 朝ごはん あたたかい玄関（3つの「あ」の合言葉）
- ・民生委員さんが、一人暮らしの方を気にかけてくれている
- ・まつりを中心にした団体が活動している
- ・子ども台輪がある
- ・スーパーやコンビニ等が近くにある
- ・ふれあいルームがあり、高齢者の集まれる場所がある
- ・出会う人同士があいさつする
- ・歩いている人は、顔見知りが多い
- ・子どもの通学路の横断歩道で毎朝、ボランティアで子どもの見守りをしてくれている方がいる
- ・近所の方と子どもが顔見知りで、気に留めてくれている
- ・昔から住んでいる方が多いので、人と人のつながりがある
- ・朝、歩いていると「あいさつ」される
- ・海、山、川に近く自然に恵まれている
- ・冷暖房完備の公会堂がある
- ・町内親睦会、灯ろう祭りや金魚台輪に多くの人が参加する
- ・金魚台輪など市に密着した行事がある（小学校の外ヶ輪みこしのパレード参加も）
- ・町内の行事が沢山ある
- ・町内会の遂行状況が非常に良い。それは、町内会を中心とした団体が思考判断、決断、実行が早く一致団結しています。（町内の合同役員会の効果による）
- ・市の中心地で、市の主要施設が近くてよい
- ・病院、学校、買い物等、徒歩圏内である
- ・店、市役所、銀行等へ徒歩で行ける
- ・市街地の中心地域で公共機関も近くにある
- ・新道、掛藏などの飲食店など、夜の社交場がある
- ・お城や公園が近くて、散歩などできる
- ・城跡公園や新発田城があり、歴史に触れられる
- ・災害が少ない
- ・子どもが多い



- ・お茶飲会が月1回程度実施されている
- ・グラウンドゴルフ、町内子どもまつり、ボーリング大会、健康講演、施設見学等を行っている
- ・町内のゴミ置場が鋼製に全箇所完了した
- ・ゴミの出し方、その後片付けがとても良い（ゴミ袋に名前を書いている）
- ・年1回の防災訓練は、多くの人が参加する
- ・静かである
- ・城下町新発田は、昔から茶道が盛んであり、そのため市内には菓子店が多くある 当市の特徴の一つ
- ・観光地のお城や落谷虹児記念館などが多くある
- ・ショッピングセンターが近い
- ・病院、医院など医療機関が近くて安心
- ・県立病院が近い
- ・バス停が多くて交通の便がよい 循環バスが通る
- ・公園がある
- ・いきいき館、文化会館、公民館など趣味の場所がある
- ・旧市街地で昔から知り合いが多い
- ・地区内にお城がある
- ・道路が整備されている
- ・立地が良い 官公庁が近い
- ・ショッピングが容易に出来る 幼稚園、小学校、中学校が近い
- ・町内会が活発
- ・三十数年続いている親睦会
- ・町内行事が沢山あり、人とのつながりがある
- ・自治会リーダーのリーダーシップが強い
- ・町内会が泉町台輪によって連帯感やまとまりがある
- ・小学校、中学校があって子ども達が集まっている
- ・学校が近い
- ・小中学校の学区が一緒であり、子ども達の絆が深い
- ・昔から住んでいる人が多く、顔見知りが多い
- ・利便性（スーパー、銀行）街中である
- ・ゴミステーションがいつもきれい！
- ・防災会がある
- ・近くにコンビニが3軒ある
- ・月2回新聞回収と、ペットボトルの回収をして業者に買い取ってもらい、町内の収益に充てている
- ・お年寄りが毎日何人か一定の場所に集まって、楽しそうに会話している所が和やかである
- ・病院が近い
- ・歩いて行ける範囲に医療機関がある
- ・クリニック等医療機関が近くにある
- ・近くにコンビニ、いろんな飲食店がある（買物、飲食利便性）
- ・身近な所に運動施設（カルチャーセンター）がある
- ・新発田城周辺や文化会館周辺に緑があり、よい散歩コースがつくられる
- ・緑が多い
- ・近い所に城跡公園、白壁兵舎等見学する場所がある
- ・新発田城、城跡公園が近くにある（歴史の探訪散策）
- ・道路や公園がきれい
- ・川が流れていて近年町場なのに、ホテルが出ている
- ・イクメンが多い
- ・退職者の方が多くその人達は、各々の仕事のスペシャリストであり高い技術を持っている
- ・子どもからあいさつができる
- ・子どもへの見守りがある
- ・自治会がある（イベント等で地域のコミュニティに活躍、活動）
- ・町内での祭りを通じて、世代交流がなされている
- ・町内単位での高齢者の集まる場の提供がある
- ・町内行事に参加者が多い
- ・クリーン作戦の参加者が多い
- ・おまつりが盛ん
- ・町内会役員の人々が、活発に活躍している
- ・人々が集う場がある（公会堂）
- ・交通の便が良い
- ・小学校が近い
- ・立派な公会堂がある（地域コミュニティ拠点）
- ・若い人も比較的多い
- ・コミュニティバス停が近い（交通の利便性）



- ・広い市道、県道、国道も近く交通の便が良く郊外に出やすい
- ・配達してくれるお店がある
- ・自衛隊が近くに駐屯している（守ってくれそう）
- ・災害がない
- ・大きな犯罪、災害が今のところ起きていない 過去にも無かった（安心）
- ・官公庁がある
- ・郵便局がある
- ・町内にはコンビニが多く助かっている
- ・不便だが昔の気配を変えない
- ・デイサービス、ショートステイ等の福祉施設が近い
- ・文化的施設が多い
- ・昔ながらの道路がある 通学路など
- ・公園が整っていて子ども達のあそぶ場所が多い
- ・飲食店が多い
- ・お城や自衛隊がある
- ・大きな建物がなく電波障害などが無い
- ・医療施設がある
- ・公共施設に恵まれている
- ・県立病院、健康増進センター、ボランティアセンター、カルチャーセンター等の施設が近くにある
- ・医療施設がある
- ・公共施設に恵まれている
- ・市役所、警察署等官庁が近い 新道も？ 昔ながらの人が多数住んでいる
- ・旧町名が道路についている
- ・外ヶ輪地区内に川が流れている
- ・交通の便が良い
- ・市内巡回バス（コミュニティバス）が利用できる
- ・国道が近く通勤に便利
- ・災害の心配が少ない
- ・町内の交流会 成壮年の会年2回、中高年の会年1回実施して交流の場が増えている
- ・町内会では壮青年部が活動しているので頼もしい
- ・イベントに幅広い地域が参加している
- ・高齢者が多い=家族の仲が良い 世代間同居
- ・人々の心の余裕、優しさがある
- ・お寺がある ゆりかごから墓場まで何でも揃っている
- ・公共施設が多くあります
- ・スーパー、コンビニがあり買い物に便利
- ・公共施設が周りにあり便利である
- ・市役所が近くにあり、用を足すのが楽である
- ・子ども達からのあいさつが多い
- ・お互いあいさつをするのが多くなった
- ・道で会う小学生と挨拶を交わす事が多くなってきた
- ・隣近所の人達と挨拶を交わせる
- ・コンビニが近くにありますが
- ・スーパーが近くにありますが
- ・近くに公園が多く住みやすい
- ・各家庭の庭が多くあり花や木が多い
- ・公園、広場が多い
- ・一日中人通りが多い
- ・人柄が良く住みやすい環境
- ・お互いに、隣近所の目配りが出来ている
- ・町内行事参加者が多く活発である
- ・行事の出席率が良い 防災訓練、旅行など
- ・町内の行事など参加してくれる人が多い
- ・町内行事が活発 交流できる種類が沢山ある
- ・町内行事などの協力体制がよい
- ・町内会の行事に参加者が多い
- ・行事など出席率が良い（総会、祭り、避難訓練、ゴミステーションがきれい）
- ・町内の役員の活動がしっかりしている
- ・町内の役員を皆で分担するようになった
- ・地区町内会を、若い人が引き受けてくれるようになった
- ・町内会の行事に下水掃除、草取りがあり清潔感がある
- ・区画整理されており、訪問するに容易である
- ・小路が多く車の事故を心配しなくてよい
- ・大きな災害がない
- ・歴史を感じることができるお城、町名、昔の話をしてくれる人が沢山いる
- ・新発田城で代表されるように、歴史、伝統のシンボルが多い
- ・高齢者の自立心が高くしっかり生活している

2 身近なところで困っていること

- ・側溝の雨水がすぐにあふれる
- ・大学と大型スーパーがあるため、ごみが落ちていると思います
- ・町内を走る大きい道路があるため、少し危ないかなと思います
- ・狭い道路があり、危険なところがある
- ・外灯の暗い場所がある
- ・必要な地区にゴミステーションの、設置場所が見つからない
- ・ゴミの収集が遅い
- ・一人暮らしの方が増えている
- ・高齢者のニーズがわからない
- ・近所同士で仲の良くない家がある
- ・公会堂をもっと多く人に使ってほしい
- ・高齢者世帯が増えて将来、空家が多くなるかも
- ・高齢者が多いが個人情報関係で所在不明（敬老会の名簿で氏名は分かったが）
- ・町内会の役員の交替者がなかなか見つからない
- ・住民の高齢化（一人暮らし）
- ・空家の増加、空地の雑草
- ・町内会等役員のなり手がいない
- ・近くにスーパーがない
- ・買い物する場所が近くにない
- ・近所の老人が息子に怒鳴られていて、かわいそうだが声をかけていいのか迷う
- ・ネコ（野良を含む）が沢山いて、後始末で困っている
- ・犬のフンが落ちたままになっている
- ・老人が多く隣り近所の交流が少ない
- ・会合、集会などに参加しない人がいる
- ・道路が狭く除雪の処理が大変
- ・町内の交流が出来なく常に考えており、行事の参加・出席をよびかけているが、参加者が少ない
- ・子どもの通学（安全）
- ・団体の活動が弱くなっている
- ・まつりの担い手が少ない
- ・歩いて行けるところに、買い物をする場所がない
- ・地域の壮年部が無くなった
- ・個人情報厳しく困った時助けづらい
- ・アパートや借家に一人暮らしが多く、孤立しがちかも
- ・空家、空地が多い
- ・空地、空家、青空駐車場が多くその解消が第一である
- ・空家が多くなってきている
- ・一人暮らしの方が年々増えて来て困る
- ・高齢者が年々増えて来る
- ・若い人が少なくて困っている
- ・空家の存在 少子高齢化に伴い又、親子別居の為一人暮らし又、高齢者のみの世帯が多く、火災、盗難等に心配です
- ・市のドーナツ化現象のまん中にあり、高齢化がみられる
- ・昔と違って近所付き合いがなく情報に乏しい、個人情報云々で何も知らされない、困ることもたくさんある
- ・子どもが少ない、金魚台輪が困る
- ・子どもが少ないため、祭りの金魚台輪などの引き手がなく困っている、苦勞している
- ・少子化で子どもが少ない
- ・近所（町内）に同じ学年の子どもが少ない
- ・野良猫が多い
- ・ゴミ出しのルールを守らない場合がある（祭日に出す）
- ・ゴミ出しの分別が悪いのが数%位ある
- ・地区で、公会堂のない所へ行政から施設の充実を図ってもらいたい
- ・新庁舎ができると、いきいき館を解体するというので町内の会合場所がなくなる（集会所）困る
- ・除雪時（除雪車の通過後）高齢者や昼に人がいない家が増えていて、雪だまりが出来ている
- ・道路幅が狭い道路を消雪道路にしてほしい 除雪されても車のスレ違いが出来ず、雪のやり場所がせまい
- ・高齢化が進んで、除雪がまかりきれない
- ・ゴミ出し、除雪、川掃除等、大変そうな方を手助けしたいが、お互いに遠慮がある
- ・家と家との少し距離がある所では、子どもも大人もあいさつを交わせない
- ・特に梅雨時期になると、毎年2～3回道路が約20cm位冠水する
- ・一般都市と比べると、舗装道路状態が悪い
- ・川の環境整備が必要である（川は水が流れて川が生きるが、蚊やハエ等の害虫の発生源になっている）

- ・町内の役員のなり手がいない
- ・道路に出ている人が少なく、子どもが一人で歩いていると心配になる
- ・市の中心地の割に、夜は人通りが少なく暗くて物騒である
- ・一人住まい高齢者の様子を把握したい
- ・外ヶ輪小学校の児童数が減ってきた
- ・子どもが少なくなった
- ・子どもの数が少なく、元気な声があまり聞こえないのでちょっとさみしい時もある
- ・人や車の通りが多いので、ゴミのポイ捨てがみられる
- ・不法投棄のゴミが多い
- ・商店街にシャッターが閉じている店が増えている
- ・地域で行事が無くなりつつある
- ・ゴミステーションが遠い（高齢の方にとっては大変）
- ・防災組織がない
- ・役員をして下さる方が少ない
- ・街灯が少ない
- ・町内での行事等に参加する人が少ない
- ・同じ町内でも知らない方もいる
- ・町内会の高齢化
- ・高齢者の一人暮らしが多い
- ・一人暮らしが多くなって心配
- ・世帯数が減少、若い人が少なくなった
- ・道路が狭い
- ・冬期になると除雪に困る 空家条例が出来ているのに、適正に管理されていない
- ・狭い道路の除雪がたいへん
- ・人とのつながりを、もっと大切にしたい時もある
- ・グループに入りたいけど、面倒な人がいるので入りづらいつか言っている人もいる
- ・空家が目立ってきた
- ・クリーン作戦や雪かきなどになると、高齢者が多いので大変だと思う
- ・小さな商店がない
- ・商店がなくなり、買い物する所がなくなった
- ・暴走族がたむろしている
- ・自転車の乗り捨てが多い
- ・町内会役員のなり手がいない
- ・若い人の自治会参加が少ない 共同作業に参加しない 関心がない
- ・役員のなり手がいない
- ・自治会等役員のなり手、後継者がいない
- ・隣近所の人との関わりが少なくなった
- ・他人に無関心の人、家族が多い
- ・住民同士のコミュニティがなく、人と人とのつながりが希薄
- ・昔の「向う三軒両隣」の付き合いが少ない
- ・住民の他人に対する「思いやり」のある人、家族が少ない
- ・独居老人が増えている 高齢化が進んでいる 少子化が進んでいる
- ・子どもが少ない（行政、国の問題かな）
- ・若い人が少ない
- ・高齢者が多くなっている
- ・空家が増えてきている
- ・空家、空地が多い
- ・町内での空家が多くなって、火災等に不安がある
- ・町内として小さいので世帯数が少なく又高齢者が多く行事（町内）の運営が出来ない
- ・町内にあった食品関連の商店がなくなり、高齢者の買物に困っている
- ・町内会館まで徒歩では遠い家もある
- ・町内行事への参加者の固定化
- ・イベント等の参加者が少ない、関心がない（参加者が固定限定）
- ・公会堂の利用が少ない
- ・高齢者のゴミ当番が大変
- ・ゴミ捨てが大変
- ・冬場の除雪が大変
- ・公園も多いが夜暗い
- ・街灯が少なく、夜暗いところがある
- ・極狭い道路がある（除雪不可、冬季に通行及び緊急時に支障あり）道路が狭くて除雪が大変
- ・人の通りが少ない（ほとんど車）
- ・公園がない
- ・下水路、道路側溝の未整備箇所がある
- ・閉まっている店が多くなってきた
- ・観光客の人のお金が商店に入っていない

- ・新発田市が、これからどんな市になっていくのか方向性がわからない
- ・役員をしたくても高齢のため協力できない
- ・緊急時（夜間・休日）の医療が心配
- ・広場のみで公園がなくトイレ等の施設がほしい
- ・下水道設備が遅れている
- ・市の一斉清掃等側溝清掃は重い蓋が上げられず出来ない
- ・一人暮らし
- ・高齢者（一人で避難出来ない人が多い）
- ・世帯主が高齢化してきている
- ・少子高齢化 先が心配
- ・空家が増えてきて、いろいろ問題が生じている
- ・空家が多い その管理が難しい
- ・高齢化が進み、町内会の組当番を引き受けられない人が出てきた 町内会活動に影響
- ・子ども、小学生が少なくなっている
- ・少子、高齢、空家が多くなってきている
- ・自転車乗りのルールを守らない人が多い
- ・ごみ出し日ではないのに出す人がいる
- ・相談場所（すべて）が分からない
- ・高齢者の抱えている心配等が分かりづらい
- ・市、行政の干渉が多すぎる
- ・町内会に参加しない人がいる
- ・町内行事で参加者が限られている
- ・アパートの住人で、町内会に入らない人が増えている
- ・高齢者が、ひきこもりがちである
- ・スーパー商店街が遠く不便
- ・いきいき館の存続が心配
- ・水はけが悪いため道路が冠水する
- ・旧住宅地の道路が狭く、交通に不便を感じている
- ・道路が狭く車のすれ違いなどの時、歩行者があぶない
- ・道路が狭い
- ・昔からの路地が多い
- ・空家が数件あって心配だ（火災等）
- ・空家が多くなっている
- ・商店が少ない
- ・高齢者が多く子どもが少なくなっている
- ・子どもが少ない 小学生が数人しかいない
- ・三世代の家庭が減少している
- ・人通りが少ない どんどん人が減っている、特に若者層が少ない
- ・車社会になり、歩いている人が少ない
- ・近くにスーパーがなく毎日の買物が大変
- ・冬の除雪が個人宅で出来ない人がいる（高齢者、身体不自由者）
- ・降雪時、除雪した後の玄関前車通りに出る道路が高齢者には大変である
- ・高齢者が多く活気がうすい（ないまではいけない）
- ・子どもの声が聞こえてこない
- ・近隣で人の声がしない
- ・近所の意味疎通が無くなってきている
- ・町内会や老人クラブの役員になる人が少ない
- ・店が多く会費が入らない
- ・子どもの参加が少ない（特に中学生）
- ・町内会の総会や新年会に参加する人が少なく、毎年同じ人がほとんど
- ・一人暮らしの人と話せる機会が少ない
- ・比較的挨拶が少ない
- ・町内会の役員のなり手が少ない
- ・役員等をやらないと地域との関わりが持てない
- ・世代を超えた集まりが少ない
- ・子育てに関しての情報が少ない、わかりづらい
- ・ゴミステーションの利用マナーが悪い
- ・愛犬家のマナーが悪い
- ・野良猫、庭などに侵入して迷惑だ
- ・人のつながりが、なかなか出来ない（声をかけられない、頼めない）
- ・野良猫が多く困っている
- ・動物のフンが多い
- ・夜まで賑やかすぎる
- ・高齢に伴い、庭木の処理が出来なくなっている
- ・町内の神社が倒壊しそうになっている



3 こんな地域であつたらいいな

- ・高齢者世帯の除雪を自然とできる地域
- ・お城が近く花見など町内で活用したらいいなと思っている
- ・今後計画されている図書館の建設及び民間棟を活用する
- ・ごみが一つも落ちていない
- ・子どもが少なく、多くなつたらいいな！集会所があつたら…公園がほしい
- ・お年寄りが多いので、朝や夕方に子どもたちを見守つてほしい
- ・何事にも、積極的に出席したらもっと良いと思う
- ・高齢者、壮年、青年、子どもが共に明るく楽しく過ごせる地域
- ・高齢者が安心して、楽しく暮らせる地域
- ・高齢者の方が気楽に集まれる場所がもっとあるといい
- ・老人が気楽に参加できるイベントのある町内
- ・老人の参加しやすいイベント実施
- ・祭りで老若男女が集うまち
- ・子どもからお年寄りまでつながるコミュニティ
- ・子どもがふえる町内に
- ・世代間を問わず、交流が図られる地域
- ・子ども台輪を活用してほしい
- ・困っている人、大変そうな人がいたら声をかける
- ・共働きで、子どもはカギッ子となることが多いので、学校帰りの子どもに地域の方から「〇〇くん、お帰り」など、声かけしてもらえると助かる（防犯の意味でも…）
- ・困っている、大変なこと、があれば助けを求められる
- ・認知症、障がいの方等に優しい地域
- ・「決まった人」ではなく、誰もがみんなに参加できる行事がある
- ・気軽に声かけできる地域であつたらよい
- ・若者と高齢者がお互いに助けあえる
- ・多くの人と接する活動（場）があれば、町内活動に多くの方が参加してほしい
- ・隣り近所が、声をかけあえる地域になると、助け合いにつながる
- ・街中に観光資源があるのだから（城、落谷虹児記念館、お寺、安兵衛に関する所あり）市としても観光協会等も、もっと積極的に力を入れて予算づけするとかして継続事業として何年後にはこのようになる、観光地として集客できるよう考えてもらい、街中に人が増えて観光客の姿が見られるようにしてほしい
- ・せっかくある新発田城が、城跡公園で人の集まれる各種イベントをしたらいい
- ・クリーン作戦等には大勢が参加してくれる
- ・町内活動には協力的である（お祭り等、年3回有り）
- ・若者、子どもが多く住みつ活気ある地域に
- ・子どもが大勢いたら良いと思う
- ・子どもが一人で歩ける地域であつてほしい
- ・必要場所に防犯カメラの設置を願いたい（最近、犯罪が多発しているので犯人の手がかりになる）
- ・外ヶ輪公園の街灯をつけてほしい
- ・夜の防犯灯を、もっと明るいものにしてほしい
現状のものでは暗すぎる いっぺんに変えられなければ、年次的に直していくとかして、もっと街中を明るくしてほしい 同時に防犯カメラも出来るだけ多く設置してほしい
- ・防犯カメラの設置（人目の届かない地区）
- ・ポスターを電柱等に貼る（内容は研究した上で）
- ・犯罪を犯しにくい地域を研究して実施する
- ・専門家に協力をいただく
- ・集会場のようなものがほしい
- ・気軽に意見を出しあえる場がたくさんある
- ・子ども、高齢者（弱者）を大切にできる地域にしたい、防犯ブザーを持たせる
- ・防犯、防火、防災を地域で出来るようにしたい
- ・上記を可能にする財源が欲しい（物資も含めて）
- ・ボランティアだけでは無理なところも当然ある
- ・隣近所の人間関係がすばらしい町
- ・地域でのあいさつができたらいいい
- ・ちょっと手伝って貰いたい時に地域に頼めたらいいな
- ・ボランティアポイントのようなものがあつたらいいな
集めたポイントで学校の物を買ったり、買い物依頼ができたらいいいな
- ・独居老人へのサポートに子ども（小中学生）が入るといいな
- ・得意な方面で（名簿等）を活用し講師や相談を受ける
- ・多くの市民が少子高齢化社会、人口減少社会の情報を

共有できるといい

- ・地域で子どもを育てる意識がめばえるといい
- ・町内の人の顔がわかる（隣りはわかる人と、顔も知らない人がいる）
- ・子育て中の親が子どもと一緒に地域に出られるといいな
- ・アパートの人も入って来やすい地域活動があったらいいな
- ・若い人達が楽しく集まれる場所等の設立
- ・若い人の働く場が沢山あるといい
- ・空家を使って地域の人材を発掘し、互いに交流し合える場があり、にぎやかに
- ・自治会を中心に活気づくまち
- ・公会堂の利用が多く、常に人が集まり賑やかでコミュニティの拠点として公会堂のある町
- ・各路地に人通りが多く、人の集まる町（夕涼み、井戸端会議とか）
- ・城跡公園の利用のため、売店みやげ店（新発田の物産）駐車場等の不足している部分の改良
- ・歴史ある地域をもっとPRできる
- ・各世代の交流ある町
- ・地域の子どものが増えてほしい
- ・定期的に町内会皆が集まれる機会があったらいいな
- ・見守りがあるといいよね
- ・生活のちょっとした手伝いボランティアが育つと良い
- ・高齢者の健康づくりイベントがあったらいいな
- ・昔の道を残し、懐かしい地域、風景
- ・各家庭に出向いてくれる専門相談員の設置
- ・防災防犯の意識が高い地域
- ・風水害に強い町内
- ・気軽にあいさつが出来る地区であってほしい
- ・災害発生時、自助、近助、共助、公助充実
- ・悩み事などいつでも相談できる（各家庭に入ってくれること）体制がほしい
- ・気軽に声をかけられる、そんな人間関係ができる町
- ・町内等の行事で、ご近所で誘い合って参加するような地域であってほしい
- ・皆さんと声をかけあえる関係をつくる まずは、あいさつから！
- ・高齢者が気軽に集まれる場所、行事がある
- ・困った事などあったら、近くに居る人に言えるような

安心できる環境

- ・地域のコミュニケーションが取れる町であってほしい
- ・何かがあった時に相談できる人が身近にいる協力体制があったらよい（組織 ハード面、ソフト面）
- ・緑の多い町にしたい
- ・若者、子どもが増えてほしい
- ・ちょっと立ち止まっても、安心して話しをできる環境があればよい（歩道、小広場）
- ・世代を超えた集いがあったらいいな
- ・公共施設内に、用事を足したあとに使える軽食・喫茶があるといいな
- ・町内の人の顔が見える町
- ・明るい会話が聞こえる地域（あいさつ、雑談、井戸端会議など）
- ・気楽にお互い話しができるつながりがあればよい
- ・どのゴミステーションも、当番とか順番制でうまくまわして管理できるとよい
- ・子ども達に注意をしてあげる地域であってほしい
- ・子ども達が公園で仲良く遊んでほしい
- ・子ども達からも町内の大人からも自然に会ったらあいさつができる
- ・年齢に関係なく、元気に過ごせる地域であること
- ・近くに子どもの遊べる場所がないからほしい
- ・町内の公会堂がほしい
- ・神社を再建して地域の要としたい



4 私たちにできること

- ・ゴミステーションや、地域のゴミ掃除
- ・近所の人たちとコミュニケーションをとる
- ・自治会の活動を活性化させる
- ・子どもの登下校見守り
- ・高齢者世帯の除雪
- ・町内に色々な役員の方がいて、色々な事について話し合い、他の人達に手をさしのべてやりたい
- ・お年寄りのサポート
- ・一人暮らしの人に声をかける
- ・地域で集まりがあれば、楽しめる・役立つイベントをお届けします（地域包括支援センター）
- ・自治会に参加し、多くの方と接し理解してもらおう
- ・近所の人と仲良くすること
- ・普段から近所や町内の方とあいさつしたりして、コミュニティの中のつながりを深める
- ・近所の方に関心を寄せる（良い意味で）
- ・隣り近所への声かけ
- ・高齢者の手足になれたら良いと思う
- ・玄関前の除雪や屋根の雪下ろしへの参加
- ・歩行中に知らない人とでも、挨拶すると良いと思います（例：散歩中に知らない人に挨拶）
- ・新発田城など地区の良さをPRする
- ・地域で集まる時、体操教室等、元気である為の講座を開催する
- ・市の指導の元でリーダーシップを発揮して頂き、我々市民は忠義を尽くすのみ
- ・町内会への協力 地域行事への積極的参加
- ・町内行事に沢山参加して、顔を知ってもらおう
- ・若者がイベントに参加、そして行う
- ・気軽に声をかける、あいさつする
- ・声かけをもっとしていく
- ・ゴミが落ちていたら知らないふりをせず、すぐ拾う
- ・広報による発信（若い世代に向けて）
- ・ボランティアが出来る、安否確認等
- ・率先垂範で地域のリーダーシップをとり、活動する
- ・心配な一人暮らしの家に訪問に行きます
- ・困ったこと（情報）を共有できればいい
- ・少子高齢化社会、人口減少社会の共有出来る場を作る
- ・すれ違う人には、きちんとあいさつする
- ・声かけ（あいさつ）挨拶の励行（自分から声をかける）
- ・各家庭に配る回覧等の配布物は手渡し努めて会話する
- ・自分からあいさつをしていきたい
- ・人が気軽に集まりやすい場所、施設を作る（公会堂）
明るく清潔で開放的な場所にする 家に無いものを備える いろんなイベントを仕掛け人が集まりやすい工夫をする（今、関心の高いもの、大勢の人が興味を示すものにお金をかける）
- ・地域で困っている人がいたら、手伝ってもらいたい
- ・公会堂で子どもを預かる場を提供する
- ・一人で避難できない人の把握（防災訓練時各世帯訪問）
- ・高齢者の手助け、話を聞いてあげる
- ・一人暮らし高齢者の買物の手伝い
- ・自分から声をかける 自主的行動
- ・自分で出来ることは手を抜かない
- ・社協の生活応援団の会員になる
- ・観光ボランティアや道案内
- ・自治会活動（行事）の積極的参加
- ・防犯の為の見廻り、定期的に行っては！
- ・声かけ運動（親睦を深める）
- ・誰とでもあいさつできる（自分からあいさつする）
- ・恥ずかしがらずに一歩踏み出し、声かけをする
- ・他者（特に弱者）に目がいき、困っていると思った
らすぐに手助けができる 困っていることに気づく
- ・対面したら、必ず誰とでも挨拶する習慣をつける
- ・一人住まいの訪問（安否確認）
- ・短時間、短期であれば年齢に関係なく話し相手ができる
- ・人が気楽に集まれる場所を作る
- ・共同作業を通じてつながりを作る
- ・公会堂を利用して、町内のコミュニケーションの場として活用する
- ・何かをやったら100%の結果を求めない
（60%以上は半分以上、70%なら上出来と思う）
- ・町内会の経費で、環境整備をできるようにしたい
- ・いろいろな行事に参加して地域の方々と交流する
- ・老人会員の取り組みとして、ちょっとした何か出来る
ことがないのかな？
- ・幼児、お年寄りを皆が大切にする

6 参考資料

「新発田市地域福祉（活動）計画」の基本理念と体系

1 基本理念

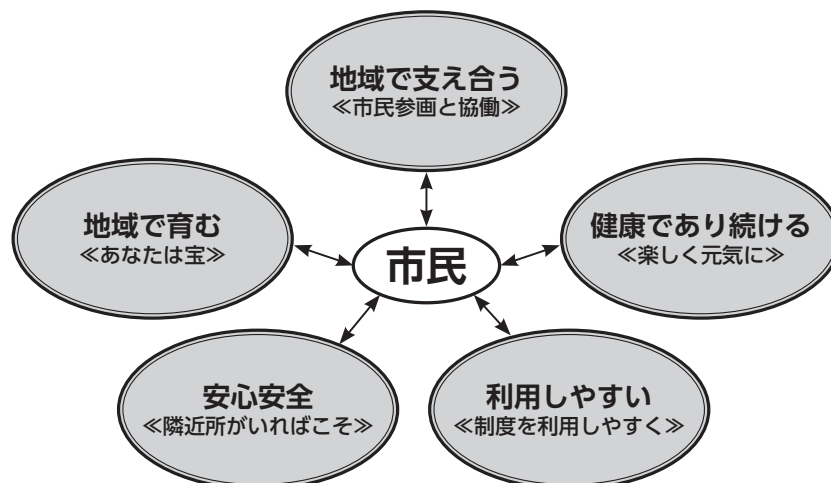
新発田市に暮らす子どもや若者から高齢者までの誰もが、新発田市の歴史と風土を大切に、新発田市民であることを誇りに思う新たな福祉の地域づくりをめざし、新発田市地域福祉（活動）計画の基本理念を次のものとします。

～新発田市地域福祉（活動）計画の基本理念～

すべての市民が住みなれた地域とともに支え合い、
安心して暮らせる福祉の地域づくり

※「出来るものならば、ずっと育ってきた地域で自立して生きていきたい。」 だれもが望む幸せとは、このような当たり前のことではないでしょうか。

地域福祉（活動）計画は、顔の見える一定の地域を面として、「地域の市民力」「地域の資源力」「行政力」という3つの力を活かし、地域に住んでいる住民や地域で活動している民間団体や事業所が、社会生活を送るうえでお互いに支え合うというわかりやすい仕組みを、行政との協働により住民自ら創り、自ら地域の実態に即した活動を展開するためのものです。そのためには、「地域のことは地域で」（下図参照）を基本として、地域に暮らすだれもが笑顔の中に生まれ、自分らしく健康で自立した生活を送り、生きること喜びを見出していける地域社会の実現を目指します。

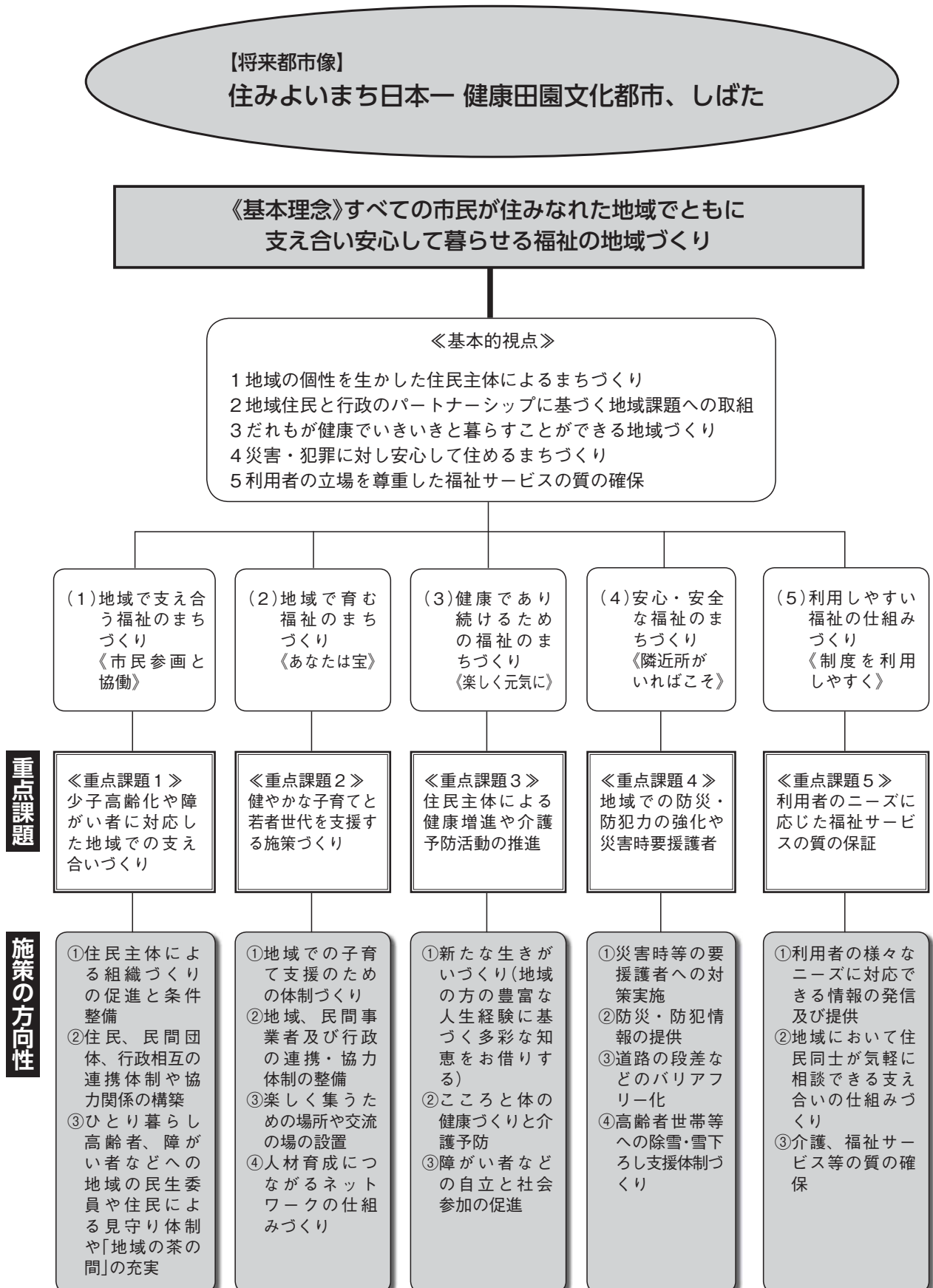


新発田市地域福祉（活動）計画は、地域福祉をより効果的に推進するため、市が策定する「地域福祉計画」と社会福祉協議会が住民とともに策定する「地域福祉活動計画」を一体化して策定したものです。新発田市及び新発田市社会福祉協議会のホームページに掲載されております。

問合せ先：新発田市社会福祉課 新発田市社会福祉協議会

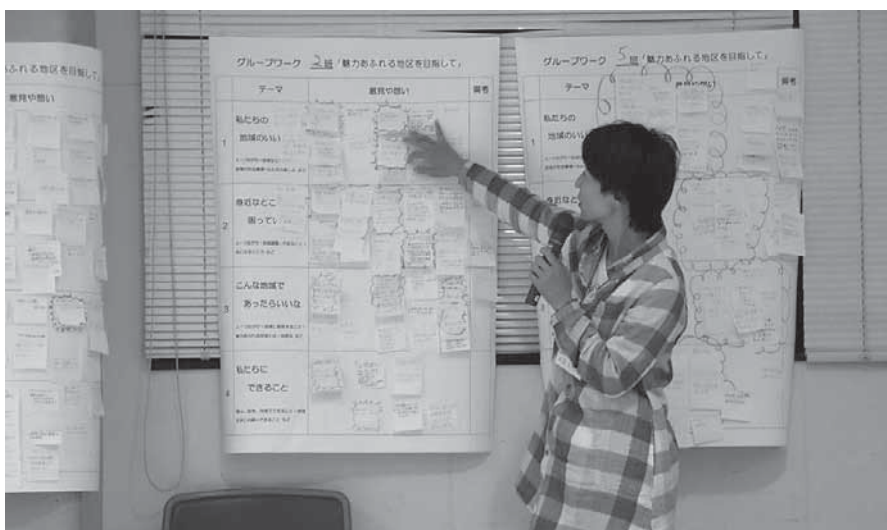
2 計画の体系

新発田市は、以下の基本理念に基づき、それぞれの重点課題について、施策を実施しながら計画の推進に取り組んでいきます。



地域のSOSを
見逃さない
つながりのある
地域をつくる

地域のつながりを実感できるように
身近な地域で福祉活動を活性化し
新しい地域づくりを目指します



第1回外ヶ輪地区福祉懇談会

日時 平成26年9月11日(木)
18時30分～19時45分
会場 地域交流センター 屋内広場
参加者 住民59人、市・社協・包括21人

第2回外ヶ輪地区福祉懇談会

日時 平成26年10月9日(木)
18時30分～20時30分
会場 地域交流センター 屋内広場
参加者 住民53人、市・社協・包括18人

第3回外ヶ輪地区福祉懇談会

日時 平成26年11月13日(木)
18時30分～20時30分
会場 地域交流センター 屋内広場
参加者 住民51人、市・社協・包括18人

第4回外ヶ輪地区福祉懇談会

日時 平成26年12月11日(木)
18時30分～19時45分
会場 地域交流センター 屋内広場
参加者 住民47人、市・社協・包括18人

これからの地域を話し合い 誰もが参加できる取り組みを目指して

核家族化や少子高齢化によって「向こう三軒両隣」のような日本の古きよき支え合いの姿が消えつつあります。

その結果、家族や地域とのつながりのカタチが変化し、地域の伝統文化や郷土愛も薄れ、地域資源が豊かであるにも関わらず継承が困難な状況になっています。

そのため、外ヶ輪地区福祉懇談会では、より多くの住民に地域への関心を持ってもらい、顔の見える地域づくりを

基盤に「気づき」を伝える仕組みを目指しています。

全4回に亘り開催した福祉懇談会では、外ヶ輪地区福祉活動計画の基本目標やスローガンの策定に向けて、のべ285名の方々からご参加いただき、地域の現状はもとより、今後の地域像など、それぞれ立場を越えて話し合い、人と人との「つながり」を地域に広げ、あたたかい地域づくりの推進を図りました。

外ヶ輪地区編集委員会		
No	団体名	氏名
1	緑町1、3丁目町内会	片桐 隆
2	中央町4丁目町内会	高橋 眞一
3	大手町5丁目町内会	吉田 泉
4	城北町1丁目自治会	伊藤 忠雄
5	中央町五丁目町内会	下村 誠
6	中央町五丁目町内会	丸山 良子
7	大手町三丁目町内会	高橋 正之
8	城北町3丁目町内会	渋谷 正子

～みんなでつながる福祉のまちづくり～

編集：外ヶ輪地区福祉懇談会・外ヶ輪地区自治会連合会
新発田市・社会福祉法人新発田市社会福祉協議会

発行：平成27年3月

新発田市

〒957-8686 新発田市中心4丁目10番4号

TEL 0254-22-3101

社会福祉法人新発田市社会福祉協議会

〒957-0054 新発田市本町4丁目16番83号

TEL 0254-23-1000

相談窓口 便利帳

高齢者に関すること

相談内容	相談先	電話番号
高齢者全般及び介護保険制度に関すること	新発田中央地域包括支援センター	26-2400
	新発田南地域包括支援センター	24-1111
	新発田市役所 高齢福祉課	22-3101
後期高齢者医療制度に関すること	新発田市役所 保険年金課	22-3101

障がいに関すること

相談内容	相談先	電話番号
障がい全般に関すること	緑風園相談室	26-8822
	こころの相談支援ウィング	28-3355
	新発田市役所 社会福祉課	22-3101
障がい者の就業・生活に関すること	障がい者就業・生活支援センターアシスト	23-1987

子どもに関すること

相談内容	相談先	電話番号
児童や子育て全般に関すること	新発田市役所 こども課	22-3101
	新発田児童相談所	26-9131

健康に関すること

相談内容	相談先	電話番号
休日・夜間の急病に関すること	新発田地区救急診療所	23-8350
健康全般に関すること	新発田市役所 健康推進課	22-3101
心の健康や悩みの相談に関すること	新発田市役所 健康推進課	22-3101
	新発田保健所	26-9133
	こころの相談支援ウィング	28-3355

その他

相談内容	相談先	電話番号
生活保護に関すること	新発田市役所 社会福祉課	22-3101
生活福祉資金に関すること		
ボランティアに関すること	新発田市社会福祉協議会	23-1000
ニート・ひきこもりの社会参加に関すること		
ニート・ひきこもりの就労相談に関すること	下越地域若者サポートステーション	28-8735

